



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

発行: 2009年4月15日
発行責任者: 特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

我が鵬友会の平成21年度 基本目標 ～ 地域連携を重視します～

鵬友会 常務理事 池島 守



「高齢化社会」の定義は、65歳以上の人口が全人口の7%を超えたときとされています(国連)。現在の日本では21.2%であり、5人に1人が65歳以上で、75歳以上は10人に1人という現状です。このように高齢化が加速する中、医療は欠くことのできないものであり、地域住民に良質の医療を継続的に提供することが求められています。

老人医療費は若人の5倍はかかり、医療制度改革により、今後医療費が抑制される方向にあり、病院の経営環境はますます厳しくなることが予想されます。

鵬友会が良質な経営を行なうには、明確な戦略(ビジョン)と戦術(ミッション)を持つことだと思います。そこで、3病院1老健の展望として**湘南泉病院**(急性期一般病院)では、診療報酬体系により平均在院日数の短縮傾向にある現在ではDPC(注)導入の流れになっていることもあり、その方向で動いております。

次に**新中川病院**(療養型病院)は、医療療養病床として高齢者医療に特化した専門の病院として又、在宅も視野に入れ対応していく方向です。

横浜ほうゆう病院(認知症専門病院)は、今後ますます増加するであろう認知症患者を、責任をもってより質の高い医療の提供に努めます。また病院としてレベルアップするために、病院機能評価の取得を目指します。

阿久和鳳荘(老健)は今年度、介護報酬の改定があったこともあり、昨年度以上の運営とサービスに力を注ぎます。

鵬友会全体としては、急性期、亜急性期、慢性期、在宅という患者の病態の流れをとらえ、他の施設との連携を重視し、地域を含めて治し支える

医療をめざし、病診連携や病々連携を模索しているところです。

こうした法人の基本的な考え方を全職員にも浸透するように、21年度の基本目標を設定しました。

1. 私達は、法人傘下の各医療機関及び介護施設等の専門性と機能分化を促進し、地域連携で持てる医療資源を地域社会に還元します。
2. 私達は、患者および施設利用者の満足度を重視し、そのQOLを高め、安全で安心且つ良質な医療と福祉のサービス提供を実践します。
3. 私達は、患者、利用者の視点を尊重し、病院機能評価やセカンドオピニオンなどを通じて外部評価を積極的に受け入れるよう努力します。
4. 私達は、お互いの立場を尊重しながら全職員が一丸となって、組織の強化と事業の充実を目指します。
5. 私達は、医療と福祉の分野での専門職としての誇りを持ち、病院・施設内外の教育を充実させ、学習活動を通じ、さらなる専門職の向上を目指します。

医療を取り巻く環境は決して平たんなものではありませんが、全職員で鵬友会の目指す方向を共有し、組織と個人のベクトルを合わせることで地域に根ざした法人として、ますますの発展を目標にしていきたいと思います。ぜひともご支援いただけますようお願い申し上げます。

(注)DPC【Diagnosis Procedure Combination: 診断群分類】とは、入院される患者の病名をもとに手術、処置等の内容に応じて、定められた1日あたりの定額の費用を基本に医療費を計算する方式のことをいいます。

私たち無事国家試験 合格しました！！

看護師



新中川病院
戸田 けさ子

私は通信制の学校を選んで学びました。仕事・学校・家庭を両立するのは、難しい点がありましたが職場の皆様方の協力と応援があり、頑張ることができました。

診療放射線技師



新中川病院
逸見 勝弥

診療放射線技師として、まだまだ未熟ではありますが優しさといわわりの気持ちを持って患者様の為に頑張りたいと思っています。宜しくお願いします。

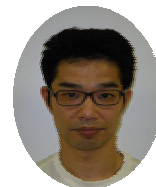
社会福祉士



ほうゆう介護支援事業所
管理者 奥 玲子

今までの経験を活かし、より多くの方の支援、相談ができるようこれからも頑張ります。

作業療法士



横浜ほうゆう病院
石井 倫顕

三十代半ばにして、全く新しい世界でのスタートとなりますが、諸先輩方を見習い、一日も早く皆様のお役に立てるようになりたいと感じています。

精神保健福祉士



横浜ほうゆう病院
川村 恵

目標とした試験に合格できたこと、その仕事にたずさわることが出来る事をととても嬉しく思います。これからも頑張っていきたいです。

精神保健福祉士



横浜ほうゆう病院
峰尾 英司

二度目の挑戦で無事合格できました。今後も今までの経験を活かしたいです。

看護師



横浜ほうゆう病院
早田 美穂

卒業したばかりなのに学校の友人や実習が懐かしく感じます。専門性を高め、患者に愛情を持って接していくように頑張ります。

介護福祉士



阿久和鳳荘
田中 和代

皆様のおかげです。ありがとうございました。これからも努力していきたいと思ひます。

第9回 市民向け医療・福祉講座 開催！！ ～ 新中川病院にて ～

平成21年3月7日(土)14時より、新中川病院リハビリテーション室で「心安らかに看取る医療とは」～療養型病院の在り方と夢～と題した市民講座を開催いたしました。

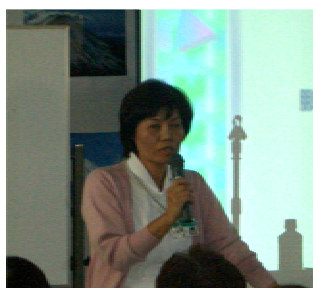
講師は、新中川病院の福田千文院長、事例報告として、串田央子看護師長、今成久美子看護師長、ほうゆう訪問看護ステーションの広瀬鈴子管理者。講演会には、一般の方々、施設職員の方々など、114名が参加し笑いや感動的な話と講師、事例報告者の話に魅了されていました。

福田院長の「患者の表情を診れば、どんなケアをしている病院なのか一目瞭然とわかる」など、高齢者医療に対する考え方を聞く事ができ、よかったですという声が多かったです。

今後も少しでも皆様のお役に立てるような内容の講座を取り組んでいきますので、ご支援お願い致します。



福田院長



串田看護師長



今成看護師長



広瀬管理者